



サプライヤー責任

2019年進捗報告書

「最も優れた企業は、
社会全体の福利に貢献し、
世界中の人々に力を与え、
人々をかつてないほど強く
結びつけるものだと
私たちは信じています」

Tim Cook
CEO

私たちはあらゆる活動において、人を第一に考えます。

私たちは、Apple製品を作る人たちと、私たちみんなが共有する地球のことを深く考えています。だから、すべての従業員が確実に尊厳と敬意を持って扱われるように、自社とサプライヤーを最高水準に保っています。さらに私たちは自分たちの取り組みを公表しています。それにより、他社が私たちのあとに続くことができるからです。

私たちはAppleの教育プログラムを拡大し、私たちのサプライチェーンで働く人たちのニーズに合ったスキル構築の機会を提供するため、自らに挑戦し続けています。2008年以来、360万人以上のサプライチェーン従業員が教育プログラムに参加しました。Appleは、サプライヤー従業員が新しいスキルを学んだり、学位を取得したり、キャリアの選択肢を広げられるよう支援するプログラムを導入してきました。さらに私たちは、彼らが自らの健康的な生活を管理する手段を身に付けられるように、健康とウェルネスに関する教育も提供しています。

そしてAppleは毎年、サプライヤーと協力して地球を守るための新しい方法も模索し続けています。2018年、Appleのサプライヤーは、iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodのすべての最終組み立て試験施設と梱包施設において、ULによる廃棄物ゼロ認定を受けました。また、2,876万キロリットルの真水を節約し、すべての最終組み立て施設において、より安全でより環境に配慮した洗浄剤を製造工程に導入しています。

世界最高の基準を推進するためには、その基準を常に引き上げ、サプライヤーがそれらを達成できるように支援する必要があります。2018年には、製造施設、ロジスティクスセンター、リペアセンター、コンタクトセンター施設において、770件のサプライヤー査定をAppleの管理のもとで実施しました。さらに、第三者機関による物製錬所と精製所の監査も279件実施しています。

私たちは、改善が必要な分野が見つからなければ、探し方が十分ではないと考えます。Appleの基準が遵守されていないことが明らかになれば、サプライヤーと密接に連携して改善をサポートします。サプライヤーに私たちの要件に応える意志が見られない場合や、応えることができない場合は、そのサプライヤーとの取引を打ち切ります。能力構築とパートナーシップを通じてAppleのサプライチェーンにおけるサプライヤーのパフォーマンスを向上させるだけでなく、私たちはその先も目指しています。

Appleの2019年の年次進捗報告書では、私たちが2018年に実施した様々な取り組みについてまとめています。

目次

人々	08
未来に向けて新しいスキルを構築する	10
キャリアアップの道を開く	13
健康教育	20
サプライヤーの職場での権利に関するトレーニング	23
地球	28
より環境に優しいサプライチェーンを工場の外でも	30
ウォーターシュワードシップ	33
より安全なプロセス薬品を	34
廃棄物をなくす	38
気候変動を抑制する	41
進捗	42
Appleの管理による査定	44
2018年の査定結果	47
Appleの鉱物サプライチェーンにおける進捗	48
Appleの管理による査定結果の詳細	51
労働者の権利と人権に関する査定の結果	54
健康と安全に関する査定の結果	59
環境に関する査定の結果	62
模範を示すことでリードし、取り組みを共有する	64

2018年のハイライト

人々

1位

トムソン・ロイター財団より、2018年「Stop Slavery Award」(強制労働撲滅賞)を受賞しました

約33.5億円

の斡旋手数料が、2008年以来、サプライヤーから払い戻されました。2018年には、そのうち約6,700万円が287人の従業員に払い戻されました

96%

すべての週間労働時間におけるApple労働時間基準の遵守率は96パーセントでした

1,730万

人以上のサプライヤー従業員が、2007年以来、自らの権利を知るためのトレーニングを受けました

地球

100%

iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodのすべての最終組み立て施設が、ULによる廃棄物ゼロ認定を受けました

2,876万

キロリットルの真水を節約したほか、サプライヤーによる水の再利用率が39パーセントになりました

A+ Mind
評価 the Store

2018年、Appleは有毒化学物質を排除する取り組みに対してMind the StoreよりA+評価を受け、40の小売業者の中で1位にランク付けされました

1位

Corporate Information Transparency Index (CITI)で5年連続1位になりました

進捗

1,049件

45か国で、Appleの管理によるサプライヤー査定を770件、製錬所と精製所での第三者機関による監査を279件実施しました

76%

パフォーマンスの高いサプライヤー施設は全体の76パーセント、パフォーマンスの低い施設は1パーセントでした

100%

特定されているスズ、タンタル、タングステン、金、コバルトのすべての製錬所と精製所が、第三者機関による監査に参加しました

30%

パフォーマンスの高いサプライヤーの数が前年より30パーセント増加しました

世界中に広がるサプライチェーン。 私たちの責任も広がっています。

Apple製品は世界中で作られています。私たちは採掘からリサイクルまで、サプライヤーと連携し、サプライチェーン内の人々とコミュニティに対してAppleの要件が満たされていることを検証しています。2018年には、45か国で合計1,049件のサプライヤー査定を実施しました。



私たちはサプライチェーンのあらゆるポイントで査定を行い、サプライヤーと緊密に連携することで、Appleのポリシーを施行しています。



Device Glass Technologyで働く
溶解装置のオペレーター
米国

人々

**教育、スキル構築、お互いに対する
敬意を重んじる安全な職場を通じて、
人々に力を与えています**

現在までに360万人以上のサプライヤー従業員が
教育とスキル構築に関するプログラムに参加して
います。

未来に向けて新しいスキルを構築する	10
キャリアアップの道を開く：新しいスキル、学位、 進路を手にする	13
健康教育：知識を深める	20
サプライヤーの職場での権利に関するトレーニング：Appleの サプライチェーン全体で人権を尊重する	23



iPhoneの製造施設で働くエンジニア
中国



ロボット工学の授業での講師と
生徒たち
中国

未来に向けて新しいスキルを 構築する

Appleの教育プログラムの目的は、私たちのサプライチェーンで働く人たちにキャリアアップの道を提供することです。その内容は、ライフスキルから職業認定、大学での学位取得まで多岐にわたります。ここでは、2018年にAppleの教育プログラムに参加した従業員のストーリーをいくつか紹介します。

何百万人ものAppleのサプライヤー従業員たちにとって、キャリアアップが教育から始まることも珍しくありません。これには、職業教育、従業員がより良いマネージャーになるためのソフトスキルの教育、自らの健康的な生活を管理する手段を身に付けるための健康教育など、あらゆる種類の教育が含まれます。Appleの教育プログラムは、参加者たちが目標に向けて一段ずつステップアップできる、階段に似た機能を持つように設計されています。

その活動は、上海からおよそ480キロ北西に位置し、500万の人口を抱える宿遷市にあるCatcher Technologyの施設で実際に目にすることができます。そこでは、Liu Jingboさんが生徒たちを製造の未来へと導いています。ただし、彼らは単なる生徒ではありません。Catcherで働くフルタイムの従業員で、Appleが立ち上げたプログラムを活用し、製造方法に変革をもたらすオートメーション技術のオンザジョブ・トレーニングを受けているのです。生徒たちの両側には6台の工業用ロボットアームが設置されています。これらはCatcherの施設全体で実際に使われているものと同じタイプのもので、iPhone、iPad、MacBookの基盤となる精密に成形された金属ケースがこのアームによって製造されます。「ロボットアームをプログラミングするためには基本的なコーディングの知識が必要です」と、Liuさんはモデルロボットアームを操作するオペレーティングシステムの前に座る生徒たちに説明します。「ただし、批判的思考のスキルも問題解決のために必要です」

昨年秋、中国の中央都市である成都市の電子機器メーカーJabilの施設で働く従業員たちは、iPhoneアプリケーションの開発に使われるSwift言語のコーディングを学ぶ機会を得ました。そしてトレーニングの期間中に、各自のオリジナルアプリケーションを実際に制作したのです。

「私の人生を変える出来事でした」と話してくれたのは、2018年にJabilに入社した技術者のTao Jiangさんです。彼は、従業員たちが職場のソーシャルメディアシステムを通じて技術的なヒントを共有できるようにするアプリケーションを共同制作しました。「今では問題に直面しても、違う視点から捉えることができるようになりました。職場での物の見方が完全に変わったのです。これまではオペレーターに過ぎませんでしたが、今後はIT部門の専門家になりたいと考えています」

「今では問題に直面しても、違う視点から捉えることができるようになりました。職場での物の見方が完全に変わったのです」

別の教育プログラムでは、中国の4つの省で職業訓練学校に通う学生たちを集め、新たに立ち上げられた体験学習プログラムを通じて、ラインリーダーとして知られる製造ラインのスーパーバイザーになるための学習機会を提供しました。

昨年、Lin Weiqiangさんは中国南部の福建省廈門市で、AppleのサプライヤーであるTPKで実施された工場ラインリーダープログラムにクラスメートとともに参加しました。彼らは一般的な授業も受けますが、このプログラムでの指導は従来の職業教育と比べてはるかにインタラクティブなものです。生徒たちを製造ラインに就かせ、熟練したメンターが指導役を務めます。さらに生徒たちは、ラインで働く従業員との効率的なやり取りや、人前での話し方、自らの時間の管理の仕方など、ソフトスキルに関する指導も受けます。これらは優れたラインリーダーになるために必要なスキルです。「こうしたことは、学校では教えてくれません」と、プログラムの別の参加者であるWang Minglongさんは言います。「このプログラムに参加しなければ、多様な人々にどう対応すべきかわからなかったでしょう」

「こうしたことは、学校では教えてくれません」

サプライヤーも即戦力になる人材というメリットを得られますが、最大のメリットが得られるのは生徒たち自身です。「このプログラムはキャリアの進路だけでなく、私の人生さえも変えたと思います」と23歳のWu Zubinさんは言います。「このプログラムに参加するまで、自分は何をすればいいのか、どんな職に就けるのか、まったくわかっていませんでした。このプログラムが、将来への明確な方向性を与えてくれました」

「このプログラムはキャリアの進路だけでなく、私の人生さえも変えたと思います」

Appleは、現場で従業員に直接会って各自の目標達成をサポートできるようにしながら、キャリアアップのための道を提供することを目指しています。

キャリアアップの道を開く

新しいスキル、学位、 進路を手にする

2008年以来、私たちはAppleのサプライチェーンで働く人たちに、教育とスキル構築のプログラムに参加する機会を提供してきました。私たちはまず、ライフスキルから生活の向上、大学の学位取得まで、サプライヤー従業員たちが多様なオンライン学習を利用できる教室を設置することから始めました。さらに私たちの教育プログラムの拡大に合わせて、Appleのサプライチェーンのより多くの部門でより多くの人々に働きかけ、一段と多様なプログラムを提供してきました。現在では、Appleの製造サプライチェーンの従業員やサプライチェーンのさらに深い階層で働く人たちも、職場でキャリアアップを図り、より高い教育を受けるのに役立つスキルを身に付けられるようになりました。

あらゆるスキルレベルの人にキャリアアップへの道を

360万

現在までに360万人以上が参加



支援とライフスキル

健康啓発

モバイル学習

ライフスキルのコース

充実した生活のためのコース



職業スキル

電気技師サービス

工場ラインリーダー

ロボット工学

Swiftコーディング



教育とキャリアアップ

環境衛生と安全の認定

準学士号

学士号

職業認定

68%

の参加者はプログラムに参加するまで最低限のコーディング経験しかなかったか、まったく経験がありませんでしたが、現在ではアプリケーションを開発できるようになりました

42

のアプリケーションが参加者によって開発されました。その種類は、職場改善、ゲーム、ソーシャルネットワーキングなど様々です

コーディングで新しいキャリアの進路を切り開く

2017年、私たちはAppleのSwiftを活用したコーディング技術をサプライチェーンの従業員と共有するためのプログラムを立ち上げました。Swiftは、コーディングを楽しくインタラクティブな形で学べる直感的なツールとしてAppleが開発したプログラミング言語です。

私たちのコーディングプログラムは、中国にあるいくつかの主要施設のサプライヤー従業員にトレーニングを提供することに焦点を置き、そこで基本を学んでもらうことから始まりました。そして生徒たちは、オペレーティングシステムとインターフェイスの使い方を理解してから、コーディングの学習を始めました。プログラムでは、インタラクティブな授業により主要なコーディングの概念を教えますが、そのほかにも数々の課題に取り組んだり、テンプレートを使うなど、生徒たちは新しい方法で楽しみながらコーディングを学ぶことができます。

2018年には、プログラムに参加するサプライヤー施設に向けて、Swiftコンテンツの次のフェーズが展開されました。集中的に学ぶトレーニングプログラム「App Development with Swift」です。プログラムを終える頃には、多くの生徒がスキルを身に付け、オリジナルのアプリケーションを制作することができました。リアルタイムの機械メンテナンスから従業員エンゲージメント、コミュニティ作りまで、アプリケーションのトピックは様々です。

参加者たちの多くはプログラムを卒業したあと、IT関連の役割でより高いポジションに昇進しています。工場でのより高度な仕事でも、Appleでのキャリアチャンスでも、プログラム修了後に私生活や仕事で成長するための機会を提供することが最優先事項です。



SEEDプログラムのクラスに参加する生徒
中国

さらに多くの選択肢と、さらに多くのチャンス

1万3,500

人以上が2008年以来、学位課程プログラムに登録しました

2008年以来、AppleのSupplier Employee Education and Development (SEED)プログラムは教育を通じてサプライヤー従業員を支援してきました。大学課程に加え、参加者は一般教育、新しい言語の習得、資産管理に至るまで、様々なコースを受講することができます。

2018年には、1,500人以上のサプライヤー従業員がSEEDプログラムを通じて大学の学位を取得しました。SEEDの開始以来、学位課程プログラムに登録したサプライヤー従業員は1万3,500人を超えます。

6,000

人以上が2017年以来、職業認定に登録しました

2017年、SEEDのカリキュラムに職業認定が追加されました。現在サプライチェーンの従業員は、iPhoneの修理、環境衛生と安全、電気技師サービスといったスキルの認定を受けることができます。この認定を受けると、トレーニングの完了後すぐにキャリアアップの機会を得られます。

2018年には、3,000人以上のサプライヤー従業員が職業認定トレーニングに参加しました。

職業認定 — キャリアアップへの道



iPhoneの修理



環境衛生と安全



電気技師サービス

未来の従業員のための新しいスキル

スマートマニュファクチャリングに向けたスキル構築

SEEDを職業認定へと拡大する取り組みの一環として、Appleのサプライチェーンで働く従業員にロボット工学トレーニングを提供するプログラムを立ち上げました。このプログラムでは、仕事での成長とキャリアアップの機会を得ながら、スマートマニュファクチャリングという新しい領域で働くためのスキルを身に付けられるオンザジョブ・トレーニングをサプライヤー従業員に提供します。

未来のリーダーを生み出すためのスキル構築

ロボット工学の認定に加え、2017年にはAppleの工場ラインリーダープログラムが開発されました。組み立てラインを管理するラインリーダーには、管理者としてのスキルとソフトスキルが求められます。工場ラインリーダープログラムでの職業トレーニングを通じて、受講者たちは優れたラインリーダーになるために必要な技術的スキルとソフトスキルを身に付けることができます。

プログラムでは中国の様々な地域で活躍する一流の研究者と協力し、未来の働き手の育成に最適な、独自の職業トレーニングプログラムを考案しています。工場ラインリーダープログラムを修了した受講者には、Appleのサプライヤーでのインターンシップとフルタイムの雇用機会が保証されています。

2019年にインターンシップを完了したプログラム参加者には、Appleのサプライヤー施設でラインリーダーのポジションに応募する資格が与えられます。

744

人のサプライヤー従業員が
2018年に組み立てラインの
ロボット工学の認定を
取得しました

203

人のSEEDプログラム参加者が、
サプライヤー施設でロボット工学
に関連した上級職に就いています

サプライチェーンのより 深い階層でのスキル構築

鉱物の調達に関わるリスクは、Appleの製造サプライチェーンにおけるリスクとは異なります。

コンゴ民主共和国 (DRC) での小規模鉱山の採掘に伴う人権のリスクをより深く理解するため、私たちはカリフォルニア大学バークレー校のCenter for Effective Global Action (CEGA) による調査の資金調達に協力しました。CEGAの調査結果が、約40か国で国際開発に注力する非営利団体であるPactとのパートナーシップ拡大につながりました。Pactと連携してAppleが開始したのが、DRCの旧カタンガ州の鉱山コミュニティで危険にさらされている若者を対象とした、職業教育と代替生計手段のためのプログラムです。

このプログラムでは、危険にさらされているDRCの若者たちに、以下の分野の職業教育を受ける機会を提供しています。

- 車・バイク整備
- 美容とヘアスタイリング
- 溶接と金属加工
- 石・れんが積み
- 情報技術
- 調理
- 電子機器修理
- 大工・木材加工

2018年のプログラム終了時には、参加者の90パーセント以上が各自で選択したコースを卒業しました。

「このプログラムは、コンゴ民主共和国の鉱山コミュニティで危険にさらされていた若者の支援に成功しています。以前は鉱山で働いていた参加者たちには、より安全かつ持続可能な環境で、より多くの教育を受け、より良いキャリアを持てる可能性が開かれています」

Karen Hayesさん
Pact



美容サロンに勤務する
Christelle Banza Mujingaさん
コンゴ民主共和国

新しい職業に就くためのスキルを身に付ける

Christelleさんは2017年に、Appleが出資し、Pactが提供する職業教育プログラムの存在を知ります。彼女は地元の同じ鉱山で働いていた友人たちにこのプログラムについて説明しましたが、最初に申し込んだのは彼女自身でした。

いくつかの選択肢の中で、彼女はヘアスタイリングに最も興味を持ち、2017年10月から職業トレーニングを始めます。ヘアサロンで数か月にわたってコースを受けながら、時間を見つけては友人や隣人たちを相手に、新たに身に付けたスキルを磨いていきました。

現在、Christelleさんは美容サロンで働いています。そして、新しい仕事での活躍を目の当たりにした友人たちのうち4人が彼女に倣い、Pactの職業教育プログラムを通じてヘアスタイリングを学ぼうとしています。

「プロジェクトのおかげで、美容とヘアスタイリングのトレーニングを受けることができました。自分で稼いだお金で、何でも必要なものを買えるようになりました。今では自分のためだけでなく、家の食料が足りない時は金銭的に支援しています。両親をサポートできることをとても誇りに思っています」

健康教育

知識を深める

2017年には、私たちの教育への取り組みが健康へと広がりました。Appleのサプライチェーンで働く女性の健康維持を情報の提供によって支援するため、中国の複数のサプライヤー施設で、従業員同士のコミュニケーションによるトレーニングモデルを採用した健康プログラム「The Health Program」を立ち上げたのです。

このプログラムでは、基本的な健康知識にとどまらず、乳がんの早期発見のための自己検診、栄養学、身体のケア、妊産婦の健康といった重要なトピックについての極めて重要な情報とトレーニングを提供しています。

私たちは、2020年までにAppleのサプライチェーンで働く100万人以上の従業員たちの健康意識を高めるという野心的な目標を掲げています。

健康啓発を通じて女性を支援する

17%

女性の健康問題に関する全般的な知識が17パーセント増加しました

16%

女性の医療サービスの利用が16パーセント増加しました

「出産後に、自分ではよく理解できない症状が出ていました。Appleの健康トレーニングを受けてからは、その症状を理解できるようになったので、積極的に病院で治療を受けています」

Zhang Yanlingさん
Apple Health Programの参加者

2018年には中国でのプログラムを拡大し、健康に関する主要なテーマを取り上げたショートビデオや記事、クイズなど、モバイルプラットフォーム向けのコンテンツを追加しました。新しいコンテンツに加え、従業員同士のコミュニケーションを活かしたトレーニングを引き続き実施したほか、大規模な健康フェアを開催し、地域の診療所で安全に匿名で受けられる検査や診療を利用するように働きかけました。

また、中国の一部のサプライヤーでは、新入社員向けのトレーニングに従来の手法とモバイルプラットフォームの両方を活用しながら、個人の健康に関するコンテンツも取り入れました。

現在私たちは、北京大学と協力し、プログラムが与える影響の監視と測定を続けています。

2020年までに100万人のサプライチェーン従業員に向けた健康啓発を実施



従業員同士で行う
トレーニング



健康フェア



診療所と検査



新入社員向けの
オリエンテーション



モバイルコンテンツ

25万

2018年末までに、25万人以上の
サプライヤー従業員が健康に
関するトレーニングを受けました

インドへのプログラム拡大に伴い、私たちはセントジョンズ医科大学と協力し、サプライヤー従業員の健康と健康的な生活に関するニーズ評価を行いました。この評価結果にもとづき、主な分野の健康知識を深めるトレーニングカリキュラムを開発し、立ち上げました。さらにセントジョンズ医科大学が提供する栄養コンサルティングは、サプライヤーの食堂の改善にもつながりました。

インドでの新しい健康知識の提供

60%

栄養に関する知識が
60パーセント向上しました

54%

糖尿病、高血圧とコレステロール
に関する知識が54パーセント
向上しました

85%

がんの早期発見に関する知識が
85パーセント向上しました

iPhoneの製造施設で働く
Health Programの参加者
インド



サプライヤーの職場での権利に関するトレーニング

Appleのサプライチェーン全体で 人権を尊重する

1,730万

人以上のサプライヤー従業員が、
2007年以来、職場での権利に
関するトレーニングを受けました

各サプライヤーは、自社の従業員に職場での権利に関する教育を提供し、その権利を尊重することを徹底するように求められています。サプライヤー従業員は新入社員向けのオリエンテーションに参加し、地域の労働法の要件とAppleのサプライヤー行動規範に記載されている人権保護に関するトレーニングを受けています。トレーニングでは、許容される労働時間、適切な労働環境と生活環境、健康と安全に関する情報などについて学びます。

人権意識をサプライチェーンのより 深い階層に

私たちは、サプライチェーンのあらゆる階層において、職場での個人の権利に関する意識を高めることができるように全力でサポートしています。これには、私たちの製品に使われる鉱物が調達される可能性があるコミュニティも含まれます。職業教育を提供する取り組みに加え、私たちはPactとも協力し、コミュニティリーダーと採掘施設の周辺コミュニティを支援しています。プログラムでは、国連児童基金 (UNICEF) が開発し、国際的に認知されているトレーニングカリキュラムを採用しています。2016年以来、私たちは鉱山地域に住む7,000人以上の人々に人権意識についてのトレーニングを提供しました。

4万4,000

人以上のサプライヤー従業員に
対する面談を2018年に
実施しました

すべての従業員に発言の機会を

Appleのサプライヤー行動規範では、従業員が懸念事項について発言できるようにするためのルートを開けるようサプライヤーに求めています。このルートには、公表されているホットラインへの匿名での電話や、Appleのサプライヤー責任チームに直接連絡する方法などがあります。

こうした手段の有効性を検証するため、Appleはサプライヤー従業員の年次評価の期間中、彼らのマネージャーが同席しない状況で、各地域の言語を使って膨大な人数の従業員の面談を行います。

このような面談を行うことで、従業員がトレーニングを受け、懸念を発言する適切な手段について認識していることを確認できます。

鉱山コミュニティに発言権を与えるための 取り組みをさらに強化

2018年、AppleはDRCで地域の人権擁護活動家と協力する団体、Fund for Global Human Rightsへの援助を再び行いました。この支援により同団体は、女性と子どもの権利の向上、鉱山労働者の健康と安全の擁護、鉱山コミュニティの経済的権利と社会的権利の擁護に取り組む草の根組織との連携に成功しています。

さらに私たちは、鉱山コミュニティの人々が告発システムを通じて問題を提起できるように支援しています。2018年、AppleはInternational Tin AssociationによるInternational Tin Supply Chain Initiative (ITSCI)の告発システムへの支援を続けました。この告発システムにより、人々が鉱物の採取、取引、取り扱い、輸出に関する懸念を各地域の言語で発言できるため、不適切な行為に対する疑惑が表面化され、対策を講じられるようになります。

約33.5億円

の斡旋手数料が、2008年以来、サプライヤーから3万6,137人の従業員に払い戻されました

約6,700万円

の斡旋手数料が、2018年にサプライヤーから287人の従業員に払い戻されました

斡旋手数料は容認できません

毎年数百万もの人々がAppleのサプライヤー施設で働いていますが、そのうちの一部は外国人契約従業員です。外国人契約従業員とは、自分が国籍を持つ国以外で職を得ようとする人を指します。こうした人々は、負債による強制労働の被害を受けやすい傾向にあります。これは現代の奴隷制度の一種であると言えます。

負債による強制労働は、借金などの債務のために労働を強いられた場合に発生しますが、その負債は仕事を獲得するための斡旋手数料として課せられたものである場合もあります。

2008年、私たちは負債による強制労働をAppleのサプライヤー行動規範に対する重大な違反とみなし、許容される手数料を1か月分の賃金までに制限しました。これは法的要件よりもさらに厳しい基準です。2015年にはこの問題に一段と深く踏み込み、先駆けとなる方策を導入しました。それがサプライヤーが操業する国、またはサプライヤー従業員の出身国の法定限度額内であっても、斡旋手数料を外国人契約従業員に課することを一切禁止するように義務付けたのです。Appleの行動規範が守られない場合、私たちは直接的な是正措置が必要だと考えます。これには、従業員が支払った斡旋手数料をサプライヤーが払い戻すことも含まれます。

2018年、私たちはサプライチェーン内での負債による強制労働を防止するための取り組みをさらに進め、Apple直営店での清掃業務の委託量を制限する措置を取りました。また、外国人契約従業員がAppleのサプライチェーンにどこで雇用され、就労するかを示す基本的な地理ルートのマッピングも行いました。この結果、リスクの高い地域で負債による強制労働の防止を強化するためのプログラムが導入されました。

2018年には、外国人契約従業員を雇用するサプライヤーと密接に協力し合い、施設に人員を斡旋する雇用仲介業者をより厳しく査定するための基準を導入しました。この取り組みでは、従業員との面談の実施や自己査定など、Appleの行動規範が求めるトピックに関する強化トレーニングを実施しました。こうした能力構築のための努力によって、サプライヤーは自らの労働サプライチェーンでより包括的な精査を実施し、従業員に対する斡旋手数料の請求を確実に撤廃できるようになります。

教育を通じた予防策

契約前

サプライヤーと人材斡旋業者に対し、採用予定の従業員が各地域の労働法や契約条件、雇用プロセスにおける従業員の権利について知ることができるようにするためのトレーニングとツールを提供します。採用予定の従業員には、懸念事項を知らせる手段であり連絡先でもある苦情報告ルートや、従業員への報復行為を一切容認しないAppleのポリシーについても知らせます。

自宅からの出発時

サプライヤーと人材斡旋業者は、新しい従業員が自宅を出発する前に、次のトピックについてのトレーニングを実施します。

- 契約条件
- 受け入れ国での労働と生活
- 労働者の権利と移動中の保障

受け入れ国への到着時

出発時のトレーニングと同じトピックを再び取り上げ、従業員の受け入れ国における規則や法律に特に重点を置いて説明します。健康と安全に関するトピックをさらに広げ、オンザジョブ・トレーニングについても扱います。



トムソン・ロイター財団より、
2018年「Stop Slavery Award」
(強制労働撲滅賞)を受賞しました

サプライチェーンから現代の奴隷制度をなくし、 さらに先へと進むために

2018年、Appleはトムソン・ロイター財団より「Stop Slavery Award」(強制労働撲滅賞)を受賞しました。

強制労働撲滅賞は、サプライチェーンから強制労働を根絶するために具体的な措置を取った企業を讃えるものです。その目的は、全世界から現代の奴隷制度をなくすために企業が重要な役割を担っていることを示すことにあります。

雇用への道

2018年、私たちは取り組みをさらに進め、国際移住機関(IOM)と連携して、人身売買から逃れた人たちがAppleでのフルタイムの雇用を獲得するためのルートを作りました。

参加者は、Apple直営店での新しい仕事に慣れる間、カウンセリング、職業サポートサービス、定期的な健康診断を2年間にわたって受けることができます。

「Appleが私たちと協力し、人身売買の被害を受けた人たちが職に就くための支援に力を注いでいることを、非常にうれしく思います。この新しい試みは、民間企業がさらに一步踏み込んで説明責任を負い、過去の被害者を直接サポートし、ほかの企業が同様の取り組みを行うきっかけを与えられることを実証するものです」

Laura Thompsonさん
国際移住機関 事務局次長

地球

より環境に優しい工場とコミュニティ

2018年には、iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodのすべての最終組み立て施設がULによる廃棄物ゼロ認定を受けました。

より環境に優しいサプライチェーンを工場の外でも	30
ウォーターシュワードシップ：リーダーとしての活動	33
より安全なプロセス薬品を：業界をリードする基準	34
廃棄物をなくす：廃棄物ゼロにつながる製品	38
気候変動を抑制する：より多くのことを、より少ない素材で	41



崑山地区の川
中国



崑山地区にある水郷
中国

より環境に優しい サプライチェーンを工場の外でも

Appleのサプライチェーンで実施される環境プログラムでは、サプライヤーの業務が工場の壁の外に与える影響を考慮するようサプライヤーに働きかけています。そこにあるのは、Apple製品の製造を支えているコミュニティです。

長い間農業の中心地だった崑山は、多くの電子機器メーカーの拠点へと発展しました。その中には、Appleのサプライヤーが多数含まれています。近隣の運河、川、湖を流れる水がなければ、この地区が繁栄することはなかったでしょう。こうした発展を持続可能なものにするためには、その水を節約し、保護しなければなりません。

真のウォーターシュワードシップには、産業に水を使用する企業が自社施設の枠を超え、政府や市民社会と協力して水の供給を流域別に保護することが求められます。

Appleとそのサプライヤーは、企業と非政府組織 (NGO) の連携により運営されているAlliance for Water Stewardship (AWS) と協力し、工場だけでなく、その周辺のコミュニティも含めた水管理を支援するためのプログラムを実施しています。「このプログラムへの参加を通じて、Appleのサプライヤーは他社が模範とするロールモデルとなり、同分野でのリーダーとなるでしょう」と、AWSの国際委員会会長のMichael Spencerさんは語ります。

「このプログラムへの参加を通じて、Appleの サプライヤーは他社が模範とするロールモデルとなり、 同分野でのリーダーとなるでしょう」

ウォーターシュワードシップに加えて、Appleは近年、製品の製造時に発生する廃棄物を削減する取り組みも始めており、事業で発生するあらゆるレベルの産業廃棄物を減らす方法をサプライヤーにアドバイスしています。これにより、環境と経済の両方にメリットがもたらされます。環境における廃棄物が減れば、全般的な費用も抑えることができるからです。2018年には、iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodの最終組み立て施設がULによる廃棄物ゼロ認定を受けました。

さらに私たちは、Appleのサプライチェーンが気候変動に与える影響も考慮しています。Appleのカーボンフットプリントはその大半がサプライチェーンに起因しており、主にApple製品の製造工程で使われるエネルギーから生じています。私たちが実施しているエネルギー効率化プログラムでは、多くのエネルギーを使用するサプライヤーと連携し、照明、暖房、冷房など、エネルギーの浪費とそれに伴う炭素排出量を削減できる可能性がある分野を査定して特定します。

エネルギー効率化プログラムにより削減された温室効果ガス排出量は、2018年全体で46万6,000トン(年換算)に達しました。これは、1年間に10万台の車を道路から取り除くのと同等の量にあたります。エネルギーを消費しないことが環境に最も優しいとはいえ、Appleはサプライヤーと協力し、2020年までに4ギガワット以上の再生可能エネルギーを生産および調達する取り組みにも注力しています。これは、Apple製品の製造に必要なエネルギーの約3分の1に相当します。



Corporate Information
Transparency Index (CITI)に
おいて、Appleが5年連続で1位に
なりました

5年連続で1位に

Appleは、Corporate Information Transparency Index (CITI)で5年連続1位にランク付けされました。これは環境保護を専門とする中国の市民社会団体であるInstitute of Public & Environmental Affairs (IPE)による指標で、中国で操業するサプライチェーンの環境面でのパフォーマンスについて、数百ものブランドをランク付けするものです。

AppleとIPEは、Appleのサプライチェーンをはるかに超えて環境に有意義な影響をもたらすために、5年以上にわたり協力を続けています。すでに好影響を生み出しているこの連携を、私たちは今後も継続していきたいと考えています。

「この5年間にわたり、Appleは革新的な方法で管理対象をサプライチェーンの上流にまで広げ続けてきました。数百ものサプライヤーに対し、エネルギーを節約し、炭素排出量を削減して、環境面でのパフォーマンスを向上するよう強く求めてきたのです。その取り組みは、時に工場を超えた場所でも展開されます。川や湖、運河の浄化が進み、より安全で清潔な環境が地域コミュニティにもたらされています」

Ma Junさん
Institute of Public & Environmental Affairs (IPE) ディレクター

ウォーター stewardship

リーダーとしての活動



Appleのサプライヤー1社が、
エレクトロニクス産業で初となる
AWSゴールド認定を取得しました

39%

参加サプライヤーによる水の
再利用率

2013年以来、AppleのClean Water Programは、サプライヤーが水を節約し、製造業務で使った水を再利用またはリサイクルするための方法を見つけ、サプライヤー施設から排出される水を可能な限り浄化するためのサポートと教育を提供してきました。

過去5年間で、参加サプライヤーの数は13社から116社にまで増えています。2018年に参加サプライヤーが節約した真水の量は2,876万キロリットル、累計での節約量は7,949万キロリットルに達しました。プログラムの規模拡大に合わせて、私たちは参加サプライヤーと協力し、水の保全からウォーター stewardshipへと取り組みを広げてきました。AWSが作成した基準に従い、サプライヤーは自社工場の外にある、自らが操業するコミュニティにまで取り組みを広げ始めています。

2018年、水の保全を超えて stewardshipへと発展させるための取り組みは、中国の崑山地域にあるサプライヤー各社とともに始まりました。参加サプライヤーは、より厳格なウォーター stewardshipに取り組み、Water Programを工場の外にまで広げ、周辺のコミュニティにも働きかけました。2018年には、Appleのサプライヤー2社がAWSによる認定を取得し、そのうち一つはエレクトロニクス産業で初となるゴールド認定でした。

プログラムの今後の継続に伴い、工場の壁の外にまで取り組みを広げること注力するサプライヤーは、水の包括的な管理システムを確立し、工場の内外で事業が水に及ぼすリスクについての理解を深め、より優れた方法で水を管理するための慣習と認識を自社のサプライチェーン全体に広げましょう。そして最終的には、それぞれが事業を営む地域の水資源の改善に寄与することが期待されます。

より安全なプロセス薬品を 業界をリードする基準

2014年以来、私たちはサプライヤーと連携し、Apple製品の製造に関わる人と環境を保護するために、業界をリードする化学物質管理プログラムを導入しています。同プログラムでは、参加サプライヤーが厳密な化学物質管理システムを導入できるようにするためのサポートと教育を提供しています。この管理システムには、化学物質の使用と消費量に関する透明性の向上と、安全な使用のための慣習の強化が含まれます。

私たちはまた、Appleのサプライヤー行動規範と規制物質仕様書 (RSS) を継続的に改善し、評価しています。さらにサプライヤーと連携し、彼らがAppleの高い基準を満たせるようにするためのサポートとトレーニングも提供しています。2018年には、500のサプライヤーがRSSに関するトレーニングに参加しました。

化学物質が規制に準拠していることをすばやく確認するための一般的な方法として、物質安全性データシートが使われています。私たちはさらに深く踏み込み、認定を受けた研究所による試験報告証明書を提出するようサプライヤーに求めています。また、新しい化学物質が導入された際には評価を行い、サポートを提供し、安全な使用を徹底しています。

Appleの化学物質管理プログラム



1. 化学物質の目録作成と選択

私たちはサプライヤーと協力し、製造プロセスで使われる化学物質の目録を保持し、新しい化学物質の導入プロセスの一環として、望ましい代替化学物質の評価も行なっています



2. リスク評価

サプライヤー従業員が化学物質にさらされるリスクを特定するために、新しい製造プロセスや変更された製造プロセスの評価を行います



3. リスク管理

従業員が化学物質にさらされるリスクをなくす、もしくは軽減するための管理方法を導入します



4. 従業員のための危険有害性周知トレーニング

サプライヤー従業員は、化学物質の使用に伴う危険性と、従業員を守るために導入されている管理手段の重要性についてトレーニングを受けます。トレーニングは、物質安全性データシートと警告ラベル、不明な点がある場合の相談先について確実に理解できるように作られています



5. 管理トレーニング

ライン監督者と工場の経営者が自らの責任を認識し、化学物質管理システムの安全な利用を効果的かつ確実に行えるようにするためのツールとプログラムをAppleが提供します



6. 健康診断

製造プロセスでの担当業務で化学物質を扱う従業員の健康を監視するため、サプライヤーは資格要件を満たす診療所に委託し、従業員が健康診断を受診できるようにしなければなりません



7. 作業員用保護具についてのトレーニング

従業員は、作業員用保護具の目的と正しい使い方、管理方法についてのトレーニングを受けます



8. 緊急時対応

サプライヤーは、緊急事態の発生時に従業員の安全を確保するため、強固な準備計画と対応計画を作成しなければなりません

より安全で、より環境に配慮した 化学物質を目指して

100%

サプライヤーの最終組み立て施設のすべてが、より安全でより環境に配慮した洗浄剤と脱脂剤を採用しています



2018年、Appleは有毒化学物質を排除する取り組みに対してMind the StoreよりA+評価を受け、40の小売業者の中で1位にランク付けされました

私たちは、サプライヤーの工場とそこで働く人たちの安全を確保できるように、化学物質を管理するための取り組みを毎年強化しています。2018年、最終組み立て施設で使われるプロセス薬品に関するAppleのRSSの遵守率が、4年連続で100パーセントに達していることが確認されました。さらに私たちは、RSSの改善も続けています。2018年には、洗浄と脱脂での使用を禁止する化学物質のリストに臭化n-プロピル (nPB) を追加しました。

また、サプライヤーの業務には、より安全でより環境に配慮した洗浄剤と脱脂剤を推奨しています。GreenScreen®フレームワークと米国環境保護庁のSafer Choiceプログラムにもとづいて、サプライヤーがより安全な代替物質を自ら評価できるように、トレーニングと査定ツールを両方提供しています。2018年には、36のサプライヤーがGreenScreenのベンチマーク1とベンチマーク2の洗浄剤と脱脂剤をすべて排除しました。

「Appleはより安全な化学物質の使用に関する基準を設定し、他社があとに続くことができるように自分たちのプロセスを公開しています。他社やサプライヤー、NGOと確かな協力関係を築きながらデータやベストプラクティスを共有することで、Appleは業界全体の課題に効果をもたらしているのです」

Alisa Gravitzさん
Green AmericaのCEO



iPhoneの廃棄物ゼロ製造施設の
ラインオペレーター
インド

廃棄物をなくす

廃棄物ゼロにつながる製品

地球への影響を最小限に抑えられるように、私たちはApple製品の製造過程で埋め立て処理に送られる廃棄物の量を減らすためのサポートと教育をサプライヤーに提供しています。

100万

トンの廃棄物がこれまでに埋め立て処理せずに転用されています

100%

iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodのすべての最終組み立て施設がULによる廃棄物ゼロ認定を受けました

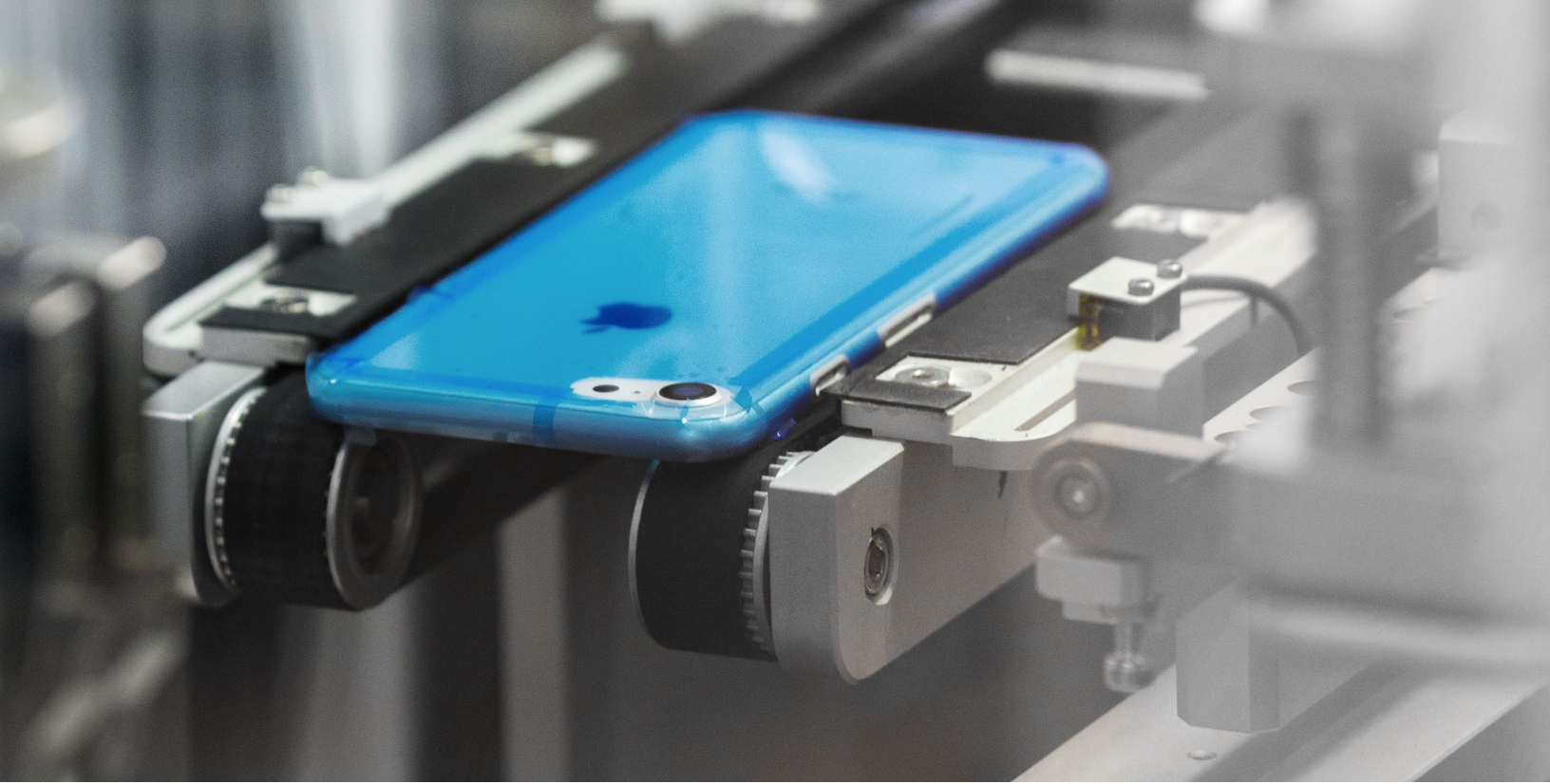
2015年、私たちは廃棄物ゼロプログラムを立ち上げました。このプログラムを通じて、サプライヤーは廃棄物をなくすための機会を特定するよう義務付けられます。サプライヤーがこの目標を達成できるように、私たちは持続可能な廃棄物管理ソリューションの専門家によるサービスなどのツールとガイドを提供しています。素材を再利用またはリサイクルする方法、埋め立てごみとして処理される廃棄物を転用する方法を特定するために、サプライヤーは数か月の時間を費やします。これは結果的にサプライヤーの環境管理システムの改善につながるだけでなく、資源の継続的な節約によるメリットももたらします。

サプライヤーは、ULの「Zero Waste to Landfill」(埋立廃棄物ゼロ)認定基準(UL2799)を満たしていることを、第三者の査定機関を通じて示す必要があります。ULの基準は、製造環境から生じる廃棄物の流れを規制する、厳格で包括的な基準です。

プラチナ認定を受けるためには、工場の廃棄物を埋め立て処理せずに100パーセント転用し、そのうち最大10パーセントを廃棄物発電施設へ送らなければなりません。ゴールド認定を受けるためには、工場の埋立廃棄物の95パーセントを転用する必要があります。ゴールド認定を取得したAppleのサプライヤーは2つありましたが、これは埋立廃棄物を転用して得られる環境面でのメリットよりも、リサイクル可能な素材の長距離輸送による炭素排出がもたらす影響の方が大きかったケースです。

廃棄物ゼロプログラムの開始時に選ばれたのは、廃棄物による影響が最も大きいサプライヤーでした。世界中から集められた部品をApple製品として組み立てる、最終組み立て施設です。そして2018年、廃棄物ゼロのサプライチェーンを実現するための私たちの取り組みは、大きな目標を達成しました。私たちのサプライチェーンのうち、iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、AirPods、HomePodのすべての最終組み立て施設がULによる廃棄物ゼロ認定を取得したのです。

私たちは今後のプログラムの進展に伴い、Appleのサプライチェーンのさらに深い階層で操業するサプライヤーとの取り組みを続けることにより、廃棄物をゼロにするための方法を実践し、埋立廃棄物を排除していきます。



iPhone製造でのフィルムの
貼り付け工程
中国

最も細かい部分にも環境的な改革を

組み立てラインでの工程では、Apple製品を覆うために複数の保護フィルムが必要になります。製品に命が吹き込まれる際、手付かずの状態を保つためにフィルムを貼り、はがすという作業が生じるのです。一枚一枚は小さなものですが、それが積み重なると、組み立て時に発生するリサイクルできない廃棄物の中で大きな部分を占めるようになります。

私たちは、この問題の解決を目指しました。焼却処理せずにリサイクルできる、新しい保護フィルムを探すことにしました。調査を実施したところ、市場ではリサイクルできる保護フィルムが手に入らないことがわかりました。そこでAppleのエンジニアリングチームが、保護フィルムのサプライヤーと緊密に連携することになりました。

一緒にリサイクルできる接着剤とフィルムの組み合わせが特定された時、このプロジェクトに転機が訪れました。結果として、コスト面で採算がとれる、リサイクル可能な保護フィルムが生まれたのです。このフィルムの採用により、最初の1年間に895トンの廃棄物を焼却せずに転用し、Apple製品の製造による炭素排出量を1,880トン削減することができました。さらに素晴らしいことに、このフィルムのサプライヤーが、ほかの企業もこのフィルムを利用できるようにしたため、各社の製造プロセスでの採用が可能になったのです。

12

のAppleのサプライヤー施設が、中国の産業政策「Green by 2025」によってGreen Factoryとして指定されました

環境に配慮した工場

2018年、Appleの12のサプライヤー施設が中国政府からGreen Factoryの指定を受けました。これにより、この指定を受けたAppleのサプライヤー施設の数合計は16となりました。Green Factoryは、中国の産業政策「Green by 2025」の一環として実施されているもので、工業情報化部が指定します。2016年に始まったこの政府のイニシアティブは、環境に配慮した製造業でのベストプラクティスを実践する工場を1,000か所指定することを目指しています。またAppleは、中国における電子機器製造の環境基準を制定する起草委員会の一員として、中国電子技術標準化研究所をサポートしています。

Green Factoryに指定された iPhone製造施設のラインオペレーター 中国



気候変動を抑制する

より多くのことを、 より少ない素材で

46.6万トン

の温室効果ガス排出量(年換算)が2018年に削減されました。これは、1年間に10万台の車を道路から取り除くのと同等の量にあたります

2015年以来、私たちはAppleのエネルギー効率化プログラムを通じてサプライヤーと連携し、彼らがより多くのエネルギーを節約できるように支援してきました。

このプログラムでは、エネルギー使用量が最も多い施設と、改善の可能性が最も高い施設に焦点を絞り、徹底したエネルギー査定を実施することで、サプライヤー施設で改善が必要な分野を特定しています。サプライヤーには、照明の更新、モーションセンサー、プロセス加熱および冷却、圧縮空気など、エネルギー節約のためのテクノロジーやインフラストラクチャーへの投資を推奨しています。このプログラムでの評価により、サプライヤーはエネルギー効率の改善策を導入するための投資によって得られる潜在的な利益について、費用対効果の分析を行うことができます。

2015年には、13の施設がこのプログラムに参加しました。現在、参加施設は85に増加しています。参加サプライヤーがエネルギー効率の改善策を導入した結果、2018年には年換算で46万6,000トンの温室効果ガス排出量の削減につながりました。

クリーンな再生可能エネルギー

4ギガワット

の再生可能エネルギーを2020年までに調達します

さらに私たちは自社のサプライヤーと協力し、クリーンで再生可能なエネルギーによる操業へと移行できるよう取り組んでいます。

Appleとそのサプライヤーは、私たちのクリーンエネルギープログラムを通じて、2020年までに全世界で4ギガワット以上の再生可能エネルギーを生産および調達することにより、Apple製品の製造に関連する炭素排出量の削減を目指しています。

30

のサプライヤー施設が、Apple製品の製造を再生可能エネルギーで100パーセントまかなうことを確約しました

2015年のプログラム導入以来、30のサプライヤーが、Apple製品の製造を再生可能エネルギーで100パーセントまかなうことを確約しています。Appleによる投資とサプライヤーの取り組みによって、現在までに3.9ギガワットのクリーンエネルギーが確保されています。

最終的には、私たちがともに努力を重ねることで、製品関連の炭素排出量を削減し、より弾力性のあるサプライチェーンを生み出し、さらに健全なコミュニティを作るために貢献できるだけでなく、他社があとに続くための道を切り開くことにもなるでしょう。

進捗

サプライヤーと連携して、さらなる説明責任を果たし、
継続的な改善を推進します

パフォーマンスの高いサプライヤー施設の数
が前年より30パーセント増加しました。

Appleの管理による査定	44
2018年の査定結果	47
Appleの鉱物サプライチェーンにおける進捗	48
Appleの管理による査定結果の詳細	51
労働者の権利と人権に関する査定の結果	54
健康と安全に関する査定の結果	59
環境に関する査定の結果	62
模範を示すことでリードし、取り組みを共有する	64



iPhone製造のラインリーダーと
ラインオペレーター
中国

Appleの管理による査定

770件

の査定をAppleの管理により実施

2018年、私たちは製造施設、ロジスティクス、リペアセンター、AppleCareのコンタクトセンターなどの施設で、合計770件の査定を行いました。2018年にAppleの管理により実施した査定は、サプライヤーとの取引全体の93パーセントを網羅しています。この770件のうち、17パーセントが初めて訪問した施設での初回査定でした。

私たちは、Appleのサプライヤー行動規範に記載されている基準に照らし合わせながら、サプライヤーのパフォーマンスを査定しています。また、責任ある調達への取り組みの一環として、新しいサプライヤーに対するサプライチェーン参加前の研修と査定も実施しています。

通常、査定には数日を要します。Appleのサプライヤー行動規範が遵守されていることを確認し、改善が必要な分野を特定するために、500を超える基準について評価します。

査定が終わると、私たちはサプライヤーと連携して、必要な部分で改善を行うための是正措置計画を作成します。サプライヤーとの継続的な取り組みでは、現場で数か月の時間をともに費やししながら、Appleの基準を満たすためのトレーニングやツール、サポートを提供する場合があります。

能力構築の支援では、AppleのSupplierCareプラットフォームにより、サプライヤー行動規範に対する理解を深め、ベストプラクティスを学んでもらうための情報をサプライヤーに提供しています。チュートリアルでは、化学物質の安全な保管から責任ある鉱物調達まで、幅広いトピックを扱います。2018年にはSupplierCareを拡大し、219の稼働中のサプライヤー施設にオンライントレーニングを提供しました。

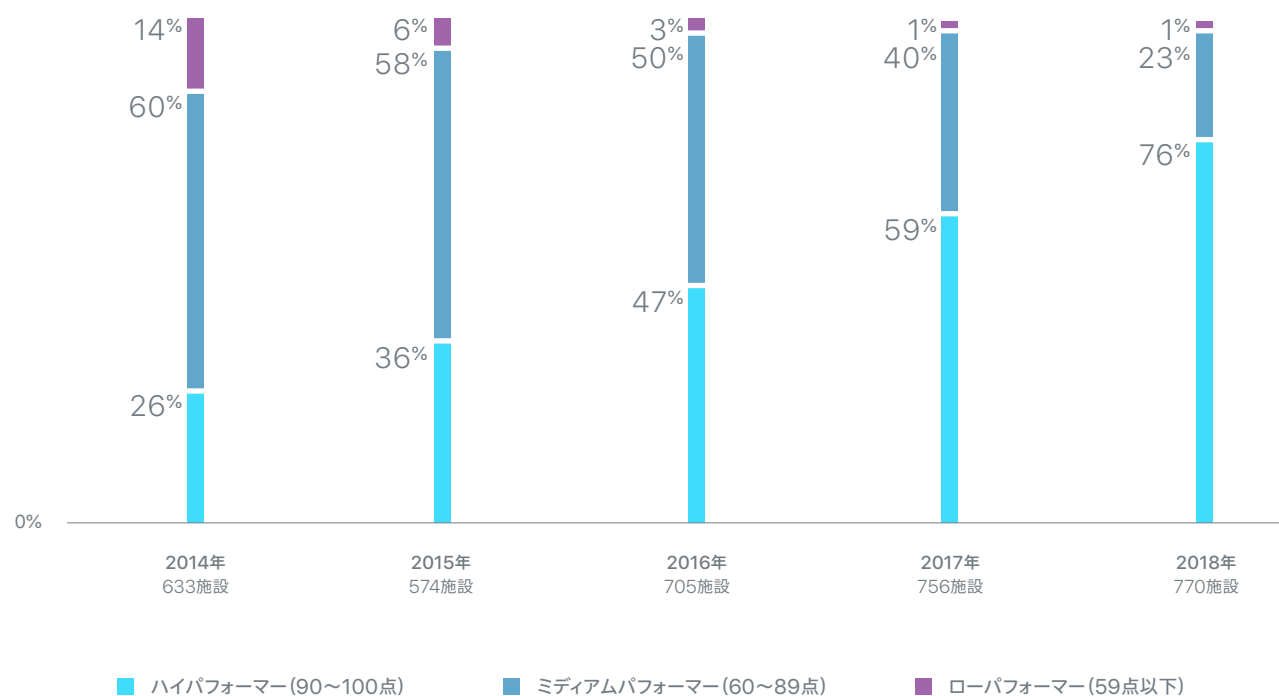
30%

Appleのサプライチェーンにおけるハイパフォーマーの前年比での増加率

86%

Appleのサプライチェーンにおけるローパフォーマーの前年比での減少率

サプライヤー行動規範の前年比のパフォーマンス



Appleの管理による査定のプロセス

Appleの管理による査定のプロセスでは通常、数日にわたってサプライヤー施設に足を運んだあと、彼らと密接に連携しながら、必要な是正措置をすべて完了できるように能力を構築します。すべての是正措置を実施し終わると、Appleはそれぞれの措置項目がもれなく達成されたかを検証します。



1. 現場での査定
Appleのサプライヤー行動規範が遵守されていることを確認するために、現場で査定を行います



2. 是正措置計画
査定で明らかになったすべての問題を是正するために、サプライヤーと連携し、30日間、60日間、または90日間の是正措置計画を作成します



3. 是正措置の実施
必要に応じてAppleの特定分野専門家がサプライヤーと連携し、未達成の是正措置計画を達成するために必要な改善策を導入します



4. 是正措置の現場での検証
実施に合意した是正措置計画を終えたあと、すべての改善点が是正されたことをAppleが現場で検証します



5. 是正措置査定の終了
すべての改善点が是正されたことが確認されると、サプライヤーの査定スケジュールは通常に戻ります



Device Glass Technologyのオペレーター
米国

2018年の査定結果

Appleの2018年のサプライヤー進捗状況報告書には、製造、ロジスティクス、リペアセンター、直営店、コンタクトセンターの各施設における査定結果が含まれています。査定対象となった各施設は、Appleのサプライヤー行動規範と照らし合わせて、100点を満点としたパフォーマンスの評価を受けます。

Appleの査定を通じて、私たちは自社の行動規範に対するサプライヤーの業務パフォーマンスを測定し、労働者の権利と人権、健康と安全、環境の分野における改善を推進しています。

Appleの管理による査定全体での平均スコア (100点満点)



Appleの鉱物サプライチェーンにおける進捗

私たちは、製品に使用される鉱物を責任ある方法で調達する、世界的なリーダーとして認められていることを誇りに思います。

製品に使われる原材料のルートを選べてマッピングする企業は少ないでしょう。Appleは、スズ、タンタル、タングステン、金を含む多くの原材料を、製錬所と精製所まで選べてマッピングしています。コバルトなどの特定の鉱物などでは、さらに先の調達元まで選べて調査します。

2010

2010年、私たちはスズ、タンタル、タングステン、金について、製錬所と精製所のレベルに至るまでのサプライチェーンを初めてマッピングし始めた企業の一つになりました

2014

2014年、私たちは自社のサプライヤーに鉱物を提供するスズ、タンタル、タングステン、金の製錬所と精製所のリストを初めて公表した企業の一つとなり、それ以降もこのリストを毎年公表しています

2014年にはコバルトのサプライチェーンマッピングを開始しました

2016

2016年以降、私たちの製錬所と精製所のリストに、コバルトの精製所も含まれるようになりました

2018

2018年には、私たちが特定したスズ、タンタル、タングステン、金、コバルトの製錬所と精製所の100パーセントが、独立した第三者機関による監査に3年連続で参加しました

Appleのサプライヤー行動規範と、原材料の責任ある調達におけるサプライヤー責任基準(責任ある調達のための基準)は、自社のサプライチェーンのあらゆるレベルに適用されるものです。これらは、「ビジネスと人権に関する国連指導原則」や、経済協力開発機構の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」などの、業界にも国際的にも認められた原則にもとづいています。Appleは、サプライチェーンで働く人々の健康的な生活を守るために、国際的に認められた基準を満たし、それを上回るよう注力しています。

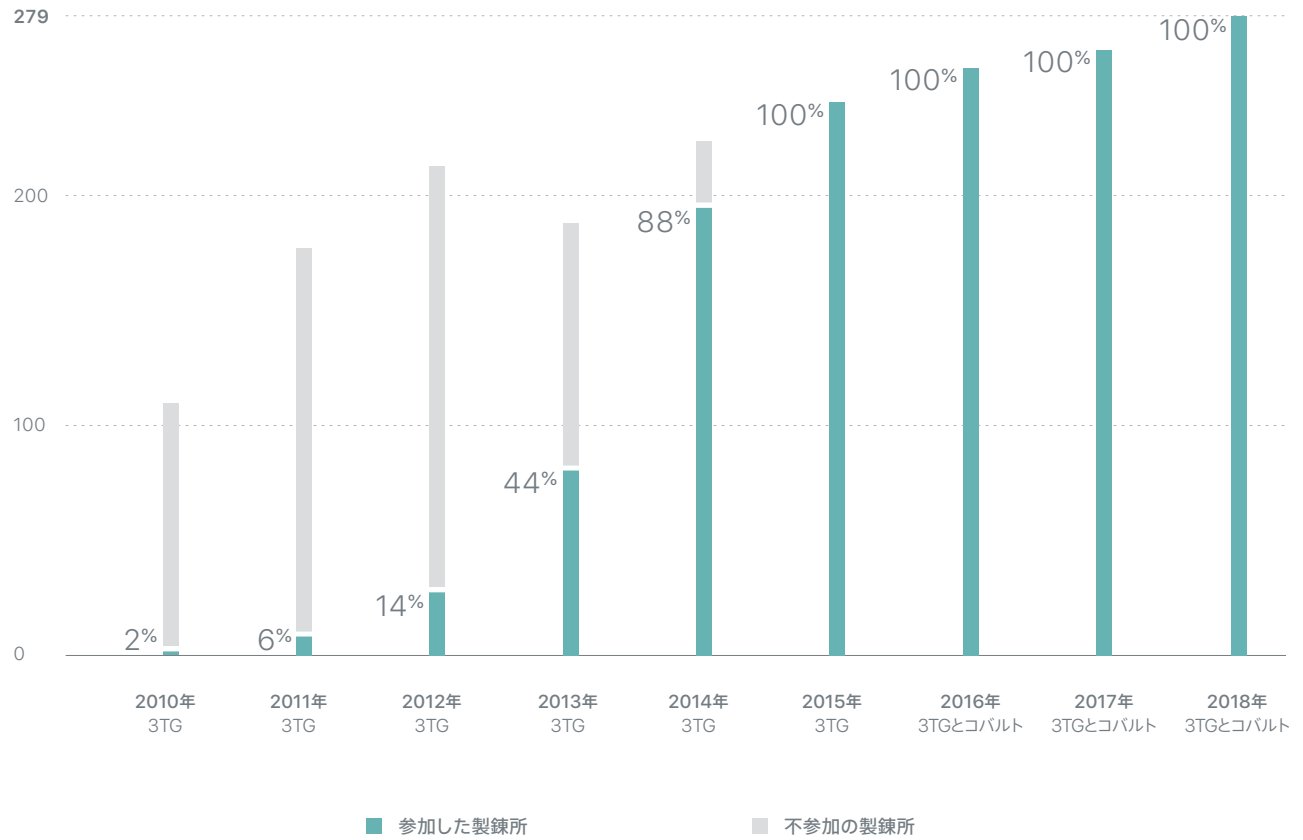
独立した第三者による監査では、紛争だけにとどまらず、人権やそのほかのリスクまでを考慮しています。製錬所と精製所は、年次査定の結果にもとづいて、自社の事業におけるリスクを報告、評価、軽減するように求められます。さらに、報告されたデータを検証し、基準を満たしていない可能性がある分野で確実に是正措置が取られるようにするために、第三者による追加の監査を実施します。

私たちは、マッピングと第三者による監査だけでは十分ではないと考えています。そこで、以下のような取り組みにより、自社の鉱物デュー・ディリジェンス・プログラムをさらに推し進めています。

- 責任ある調達のための厳しい基準の実践を強化し続ける
- サプライヤーやそのほかの情報源から提供されたデータを収集し処理することで、自社のサプライチェーンを製錬所と精製所のレベルまで、さらには採掘施設レベルまで可能な限りマッピングする
- 鉱物サプライチェーンで特定されたリスクを軽減し、それに対処する
- 特定の鉱山コミュニティで働く人々が発言権を持てるように努める
- 人権啓発と職業教育を通じて、サプライチェーンのさらに深い階層で操業するコンゴ民主共和国の多数の鉱山コミュニティにまでプログラムの取り組みを広げる
- 業界全体にわたる鉱物のトレーサビリティプログラムが人権に与える影響を測定する
- テクノロジーを使ってトレーサビリティメカニズムを探求する
- 業界団体に働きかけ、ベストプラクティスやApple Risk Readiness Assessmentなどの各種ツールを共有する
- 市民社会、業界、政府と共同での取り組みを行う

第三者による監査への製錬所と精製所の参加率(3TGとコバルト)

施設数



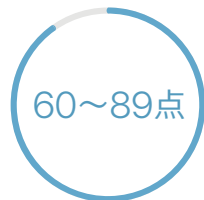
Appleの管理による査定結果の詳細

評価と減点

100点を
満点とした評価



ハイパフォーマンス



ミディアムパフォーマンス



ローパフォーマンス

査定の結果は、深刻度によって分類されます。

管理上の不遵守

ポリシー、手順、トレーニング、コミュニケーションに関する査定結果。

例：

- 記録の保存方法が不適切
- ポリシーまたは手順についての文書が不適切
- ポリシーについてのトレーニングが不十分

違反

実施に関する査定結果。

例：

- 福利厚生の給付が不十分
- 雇用前、雇用中、離職後の業務関連健康診断が不適切
- 環境に関する許認可が不適切

重大な違反

重大な違反は、Appleのサプライヤー行動規範に対する最も深刻な違反と見なされます。

例：

- 未成年者の就労または強制労働
- 書類の改ざん
- 従業員への脅迫または報復
- 環境と安全に対する直接的な脅威

サプライヤーは、重大な違反をただちに是正するように求められます。それだけでなく、違反の根本的原因に対処するための変更を管理システムで行い、Appleのサプライヤーであり続けるための継続的な防止策を確実に講じなければなりません。

サプライヤーに重大な違反を是正する意思が見られない場合、それを是正できない場合、またはサプライヤーが重大な違反を繰り返した場合、そのサプライヤーはAppleのサプライチェーンから除外されます。現在までに、20の製造サプライヤー施設が私たちのサプライチェーンから除外されました。私たちのサプライチェーンのさらに深い階層で操業する製錬所と精製所にも、同様の基準の遵守が求められています。Appleのサプライヤー行動規範を遵守しようとする姿勢が見られない場合は、Appleとの取引が打ち切られる可能性があります。2018年には、5つの3TG錬所および精製所と、2つのコバルト製錬所および精製所が、私たちのサプライチェーンから除外されました。

査定により違反を明らかにすることに加え、私たちはサプライヤーに関する疑惑も深刻に受け止めています。サプライヤーに関する疑惑は、ニュースメディア、サプライヤー従業員、匿名の個人などの情報源からもたらされる可能性もあります。

申し立てが事実であることが確認されると、徹底的な調査が行われ、サプライヤーはただちに是正措置計画を立てるように求められます。Appleはサプライヤーと連携し、すべての是正が90日以内に確実に実行されるようにします。

私たちのサプライチェーンに鉱物を提供している可能性がある製錬所や精製所など、サプライチェーンのさらに深い階層で疑惑が生じた時は、Appleがその申し立てを調査します。市民社会や政府と協力して調査を実施し、疑惑に対応する場合もあります。



Apple Watch製造のラインオペレーター
中国



100点満点で89点
労働者の権利と人権に関する
平均スコア

労働者の権利と人権に関する 査定の結果

2018年に私たちが実施した770件の査定では、労働者の権利と人権に関する平均スコアは89点でした。

査定の期間中、サプライヤーは、Appleのサプライヤー行動規範に記載されている労働者の権利と人権の保護の全項目について評価を受けます。査定される分野には、差別の禁止、ハラスメントと虐待の禁止、強制労働、人身売買、未成年者就労の防止、未成年従業員と学生従業員の保護、労働時間、賃金、福利厚生などが含まれます。

これらの問題についてサプライヤーを評価するために、私たちは査定期間中に調査を行います。査定の手順では通常、規範が遵守されていることを確認するために、サプライヤー施設の徹底的な実地検証、人事記録の調査、サプライヤー従業員との面談の実施を義務付けています。

Appleの行動規範の改訂点

2018年、私たちは自社のサプライチェーンにおける労働者の権利と人権に関する基準をさらに引き上げました。

医療検査

従業員のプライバシーを守り、法外な費用の請求を防ぐために、医療検査に関する制限事項を追加しました。このポリシーの変更により、サプライヤーは必要な医療検査のすべての費用を負担し、従業員に彼らの医療検査の結果を提供するように義務付けられました。

出産後間もない母親と授乳婦

出産後間もない母親と授乳婦に対する保護を強化しました。これによりサプライヤーは、出産後間もない母親と授乳婦の労働時間をより厳密に監視すること、こうした母親たちにリスクの高い作業への従事を求めないこと、サプライヤーの施設内に適切な授乳室を設けることを徹底するように義務付けられました。










査定結果

2018年の査定で見つかった労働者の権利と人権に関する違反の大半が、労働時間の違反と、賃金および福利厚生の不適切な給付に関連したものでした。

2018年に明らかになった賃金と福利厚生の不適切な給付の例には、従業員が施設での新入社員向け健康診断の費用を支払うように求められたケースがありました。このような違反が発覚した場合、サプライヤーは、支払われたすべての費用を従業員に払い戻さなければなりません。

割合は比較的低いものの、査定では、ハラスメントの禁止、未成年者就労の防止、結社と団体交渉の自由に関する違反も見つかりました。

労働者の権利と人権のカテゴリーでの減点ポイント

	重大な違反	違反	管理上の不遵守	減点の合計
 労働時間	- 0.1	- 3.4	- 0.4	- 3.9
 賃金、福利厚生、契約	-	- 3.3	- 0.2	- 3.5
 強制労働の防止	- <0.1	- 0.6	- 0.6	- 1.2
 保護対象グループ	-	- 0.6	- <0.1	- 0.6
 差別の禁止	-	- 0.2	- 0.3	- 0.5
 苦情への対応	-	- 0.3	- 0.1	- 0.4
 ハラスメントと虐待の禁止	-	- <0.1	- 0.2	- 0.2
 未成年者就労の防止	- <0.1	- <0.1	- 0.1	- 0.2
 結社と団体交渉の自由	-	- <0.1	- <0.1	- 0.1

合計スコアの平均:

89

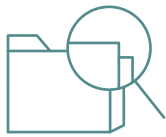
重大な違反

2018年には、労働者の権利と人権についての27件の重大な違反が明らかになりました。これらの違反には、労働時間の改ざん24件、負債による強制労働2件、未成年者の就労1件が含まれます。

労働時間の改ざん

従業員の労働時間の改ざんが発覚した場合、違反はサプライヤーのCEOに報告され、そのサプライヤーはただちに指導監督の対象となります。そして、サプライヤーの倫理規程と管理システムを徹底的に見直すことで根本的な原因を特定し、系統的な是正を行います。サプライヤーには、見直された規定を確実に施行して違反の再発を防止するために、定期的な監査を受けることを義務付けます。さらにサプライヤーは、従業員の実際の労働時間を正確に反映させるために、すべての記録を修正しなくてはなりません。2018年には24件の労働時間データの改ざんが明らかになり、すべての事例において、サプライヤーはただちに指導監督の対象となりました。2018年のサプライヤーによる労働時間の遵守率は、全体で96パーセントでした。

労働時間の改ざんの是正プロセス



1. 違反の特定
Appleの査定担当者と社外監査担当者が記録改ざんの違反を特定します



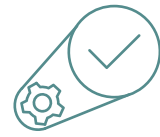
2. 違反の伝達
AppleがサプライヤーのCEOに違反を伝達し、ただちに指導監督の対象となることをサプライヤーに通知します。サプライヤーは指導監督条件に署名します



3. 根本的な原因の特定
Appleとサプライヤーが、サプライヤーの倫理規程と管理システムを見直して、根本的な原因を特定します



4. 定期的な監査
違反の再発防止のため、見直された規程が確実に施行されるように、定期的な監査を受けることをサプライヤーに義務付けます



5. すべての記録の修正
サプライヤーは従業員の実際の労働時間を正確に反映させるために、すべての記録を修正しなくてはなりません

負債による強制労働

2008年、負債による強制労働はAppleのサプライヤー行動規範における重大な違反とみなされることが決定しました。2015年以来、Appleの行動規範では、サプライヤーが操業する国の法定限度額内であっても、いかなる斡旋手数料も一切容認しない厳格なポリシーを施行しています。2018年には、2件の負債による強制労働が発覚しました。どちらの事例においても、サプライヤーはただちに1年間の指導監督の対象となり、被害を受けた従業員にすべての斡旋手数料を払い戻すよう求められました。

約6,700万円 約33.5億円

の斡旋手数料が、2018年に
287人のサプライヤー従業員に
払い戻されました

の斡旋手数料が、2008年以来、
3万6,137人のサプライヤー
従業員に払い戻されました

負債による強制労働の是正プロセス



1. 違反の特定
Appleの査定担当者や社外監査担当者が、負債による強制労働の違反を特定します



2. 違反の伝達
Appleがサプライヤーの経営幹部に違反を伝達します



3. 条件への署名
サプライヤーが指導監督条件と払い戻し条件に署名します



4. 払い戻し計画
Appleの承認を得るため、サプライヤーが払い戻し計画を提出します



5. 従業員への支払い
サプライヤーが従業員に払い戻します



6. 支払いの検証
社外監査担当者がサプライヤー施設で払い戻しを検証します

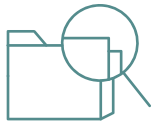
未成年者の就労

未成年者の就労が明らかになった場合、社外の専門査定担当者を起用し、その事例に関する詳細な検証を行います。サプライヤーは、その未成年従業員の就労を中止し、安全に帰宅させるよう求められます。さらに、その未成年従業員と保護者には教育の機会が提供されます。

その未成年従業員が学校に通う間、サプライヤーは授業料とそのほかの関連費用を支払うとともに、賃金も支払い続けることを義務付けられます。また、自宅と学校の両方で、彼らの全体的な福祉を確認するための経過観察が行われます。その未成年者が法で定められた就労年齢に達した時点で、サプライヤーは雇用の機会を与えなければなりません。

2018年には、1件の未成年就労が明らかになりました。その未成年者の年齢は15歳10か月で、偽の身分証明書を使用して職を得ていました。発覚後、その未成年者はただちに自宅に帰され、サプライヤーから給料を受け取り続けながら、自分が選んだ学校に入学しました。そして法で定められた最低就労年齢に達すると同時に、元の仕事に戻る選択肢が与えられました。

未成年者就労の是正プロセス



1. 違反の特定
Appleの査定担当者と社外監査担当者が、未成年就労の違反を特定します



2. 帰宅させる
サプライヤーはただちに、未成年の従業員を安全に帰宅させなければなりません



3. 賃金の支払い
サプライヤーは、未成年の従業員が法で定められた就労年齢に達するまで賃金を支払い続けなければなりません



4. 教育
サプライヤーは、従業員に教育の機会を提供しなければなりません



5. 雇用の保証
サプライヤーは、その従業員が法で定められた就労年齢に達した時には雇用の機会を提供しなければなりません



100点満点で93点
健康と安全に関する評価の
平均スコア

健康と安全に関する査定の結果

2018年にAppleが実施した770件の査定全体で、健康と安全に関する平均スコアは93点でした。

査定の期間中、サプライヤーはAppleのサプライヤー行動規範に記載されている健康と安全の全項目について評価を受けます。査定対象の分野には、労働安全衛生の慣行と管理システム、緊急準備と対応、労働環境と生活環境などが含まれます。

Appleの行動規範の改訂点

2018年、私たちは自社のサプライチェーンにおける健康と安全に関する基準をさらに引き上げました。

リスクの高い作業

巻き上げ機やクレーンの操作など、高いリスクが伴う仕事を担う下請業者にまで保護を拡大するため、私たちはAppleの基準を引き上げました。以前の基準は、施設の従業員を保護するものにとどまっていた。行動規範の対象が下請業者にまで広がったことにより、Appleのサプライヤーは、高いリスクを伴う作業中にすべての下請業者従業員の安全が確保されるように、管理システムと緊急時の対応手順を確立することが義務付けられました。

0

2018年の健康と安全に関する
重大な違反の件数

査定結果






2018年の査定で見つかった健康と安全に関する違反の大半が、労働安全衛生と危険防止、緊急準備に関連したものでした。

2018年に明らかになった労働安全衛生と危険防止の違反の例には、危険な作業に従事した自社の従業員に対し、サプライヤーが適切な健康診断を行わなかったケースがありました。このような違反が発覚した場合、サプライヤーは健康と安全を保証するために、自社の管理システムを改善し、従業員への情報伝達を強化して、雇用前と雇用後の健康診断がどちらも確実に提供されるようにしなければなりません。

2018年に明らかになった緊急準備の違反の例には、サプライヤー施設の避難通路に一時的に障害物が置かれていたケースがありました。このような違反が発覚した場合、サプライヤーは管理チームと従業員に対し、安全意識と緊急準備の適切な管理に関するトレーニングを再び実施しなければなりません。さらにサプライヤーは、安全に関する問題を効率的に特定して迅速に対処できるように、社内の監視プロセスを改善するための計画も作成する必要があります。

割合は比較的低いものの、査定では、健康と安全に関する許認可、作業環境と生活環境、事故管理に関する違反も見つかりました。

健康と安全のカテゴリーでの減点ポイント

	重大な違反	違反	管理上の不遵守	減点の合計
 労働安全衛生と危険防止	-	- 3.5	- 0.2	- 3.7
 緊急事態の予防、準備と対応	-	- 1.8	- 0.6	- 2.4
 健康と安全に関する許認可	-	- 0.8	- <0.1	- 0.8
 作業環境と生活環境	-	- 0.3	-	- 0.3
 事故管理	-	- 0.1	-	- 0.1

合計スコアの平均:

93



Apple直営店のガラス製造業者でデジタル印刷を行う
シフト監督
ドイツ



100点満点で93点
環境に関する評価の平均スコア

環境に関する査定の結果

2018年にAppleが実施した770件の査定全体で、環境に関する平均スコアは93点でした。

査定の期間中、サプライヤーはAppleのサプライヤー行動規範に記載されている環境の基準について評価を受けます。査定対象の分野には、環境に関する許認可と報告、有害物質の管理、廃水の管理、雨水の管理、排出ガスの管理、資源消費の管理などが含まれます。

Appleの行動規範の改訂点

2018年、私たちは自社のサプライチェーンにおける環境に関する基準をさらに引き上げました。

資源消費の管理

私たちは、資源消費の管理に関する新しい基準を公開しました。この基準により、サプライヤーは、化石燃料、水、有害物質、そして天然資源の消費量を減らすように求められます。この要求に応えるために、サプライヤーは資源の保全、再利用、リサイクル、代用などの方法の進捗について数値化し、目標を設定して、監視を行う管理システムを開発する必要があります。

排出ガスの管理

Appleのサプライヤー行動規範に新しく追加された規程により、サプライヤーは、自社の事業における温室効果ガス排出量を削減するための管理システムを開発するように求められます。この新たな条件を満たすために、サプライヤーは排出目録を評価し、資源の保全やクリーンエネルギーの活用などによる排出量削減の目標を設定する必要があります。サプライヤーが設定する目標には、絶対的削減、正常化による削減、またはその両方が含まれていなければなりません。

査定結果

2018年の査定で見つかった環境関連の違反の大半が、有害物質の管理、環境に関する許認可、雨水の管理に関連したものでした。

2018年に明らかになった有害物質の管理に関する違反の例には、サプライヤーが自社の有害廃棄物に適切なラベル付けを行っていなかったケースがありました。サプライヤーの施設で働く人々を保護するために、私たちは廃棄物の正確な名前、潜在的な危険性、安全対策を明記したラベル付けを行うように義務付けています。このような違反が発覚した場合、不適合を是正し、従業員トレーニングを再び実施してAppleの基準を確実に満たせるようにするためのツールとトレーニングがサプライヤーに提供されます。

2018年に明らかになった環境に関する許認可関連の違反の例には、サプライヤーが地域の環境保護局から環境影響評価の承認を取得していなかったケースがありました。このケースでは、サプライヤーは製造プロセスを変更したにも関わらず、プロジェクトの開始までに更新された承認を適切なルートを通じて取得していませんでした。このような違反が発覚した場合、サプライヤーは適切なルートで承認申請を行い、法律で定められたすべての許認可を取得したうえで、今後の許認可の問題を処理するための管理システムを確立するように求められます。






2018年に明らかになった雨水の管理に関する違反の例には、サプライヤーが半年ごとの雨水管理システムでの測定を怠ったケースがありました。Appleのサプライヤー行動規範は、法的な要件よりも高い頻度で雨水を検査することを義務付けています。このような違反が発覚した場合、サプライヤーは社外機関に依頼して雨水のサンプルを収集し、Appleのサプライヤー行動規範に従って雨水の検査を実施しなければなりません。



2018年の環境に関する重大な
違反の件数

割合は比較的低いものの、査定では、廃水、排出ガスと境界騒音の管理、無害廃棄物の管理、公害防止、資源削減に関する違反も見つかりました。

環境のカテゴリーでの減点ポイント

	重大な違反	違反	管理上の不遵守	減点の合計
 有害物質の管理	-	- 1.5	- 0.3	- 1.8
 環境に関する許認可	-	- 1.7	-	- 1.7
 雨水の管理	-	- 1.1	- 0.4	- 1.5
 廃水の管理	-	- 0.5	- 0.3	- 0.8
 排出ガスの管理	-	- 0.6	- 0.1	- 0.7
 境界騒音の管理	-	- 0.2	- 0.1	- 0.3
 無害廃棄物の管理	-	- 0.3	- <0.1	- 0.3
 公害防止と資源削減	-	-	- <0.1	- <0.1

合計スコアの平均:

93

模範を示すことでリードし、 取り組みを共有する

能力を構築するためのツールと技術がAppleのサプライチェーン内になれば、私たちはそれらを作り出します。こうしたツールが自社のサプライチェーンの外にいる人々にも役立つものであれば、私たちはそれらを共有します。私たちは業界の枠を超えてほかの企業や人々と協力し合いながら、自社の進捗を共有し、ベストプラクティスの活用を奨励しています。

環境衛生と安全に関する 知識の共有

2014年、私たちは、環境保護、大気汚染、水管理、化学物質管理、緊急準備、安全装置に関する集中的なカリキュラムを開発するため、南京大学のEHS Centerと協力し、Environmental Health and Safety (EHS) Academyを設立しました。このアカデミーが発足したことで、Appleのサプライヤー施設で働く何百人ものEHSマネージャーが専門的なスキルを身に付け、サプライヤーが現場でEHSシステムの管理と維持を行えるようになりました。

私たちは、Responsible Business Alliance (RBA)と協力してこのカリキュラムをオープンソース化し、RBAの参加企業だけでなく、世界中のサプライチェーンのEHSマネージャー向けにオンラインで公開しています。

ほかの企業や人々との共同での取り組み

さらにAppleは自社のサプライチェーンの枠を超え、業界全体で責任ある鉱物調達を推進するための取り組みを行っており、Responsible Minerals Initiativeの執行運営委員を務めているほか、市民社会、業界、政府の専門家と幅広く対話を重ねています。2018年には、国際的な人権団体のEnough Projectと協力して、責任ある鉱物の調達のための革新的なアプローチに共同で取り組む機会について議論する、専門家グループによる一連の公開討論会を開催しました。

さらに私たちは国際移住機関(IOM)と連携し、企業とそのサプライヤーが自らのサプライチェーンでの鉱物調達に関連した人権侵害の疑惑に対応できるように、明確なロードマップを作成しました。このガイドラインは「ビジネスと人権に関する国連指導原則」の内容に沿って作られたもので、企業、査定機関、製錬所や精製所が調達のサプライチェーンでの問題を軽減するために取るべき段階的なアプローチを明確に示しています。また、問題の是正プロセスについても手順ごとに説明しています。このガイドラインは一般公開されています。

2018年には、AppleのRisk Readiness Assessment (RRA) ツールを、業界全体で利用できるプラットフォームに移行させました。現在、自社の調達サプライチェーンでの人権に関するリスクを評価できるツールを探し求めている様々な業界の合計265の企業が、このツールを利用しています。

AppleはClean Electronics Production Network (CEPN) を通じて、化学物質の管理、サプライチェーンにおける透明性の推進、より安全でよりクリーンな代用物質の採用に関する私たちの厳格なアプローチなどのベストプラクティスを共有しています。また、このリーダーシップの一環として、CEPNのトレーニングビデオの制作資金を提供し、参加企業だけでなくエレクトロニクス産業全体とビデオを共有できるようにしています。

さらに私たちは業界の枠を超えた共同での取り組みに参加し、Responsible Business Allianceと同団体が進めるResponsible Labor Initiativeのほか、Public-Private Alliance for Responsible Minerals Tradeなどの団体でリーダーの役割を担っています。



iPad製造のラインリーダー
中国

変化を推し進める連鎖反応 を作り出します。

人と地球のための私たちの取り組みは、私たちのサプライチェーンだけにとどまりません。私たちの進捗を広く公開することで他社が追従できるようにし、業界全体で変化を加速させることを目指しています。私たちの努力が世界的に評価されているのは誇らしいことです。しかし、この取り組みに終わりが無いことも知っています。私たちは、物事をさらに良くする方法が見つからなければ、探し方が十分ではないと考えるからです。